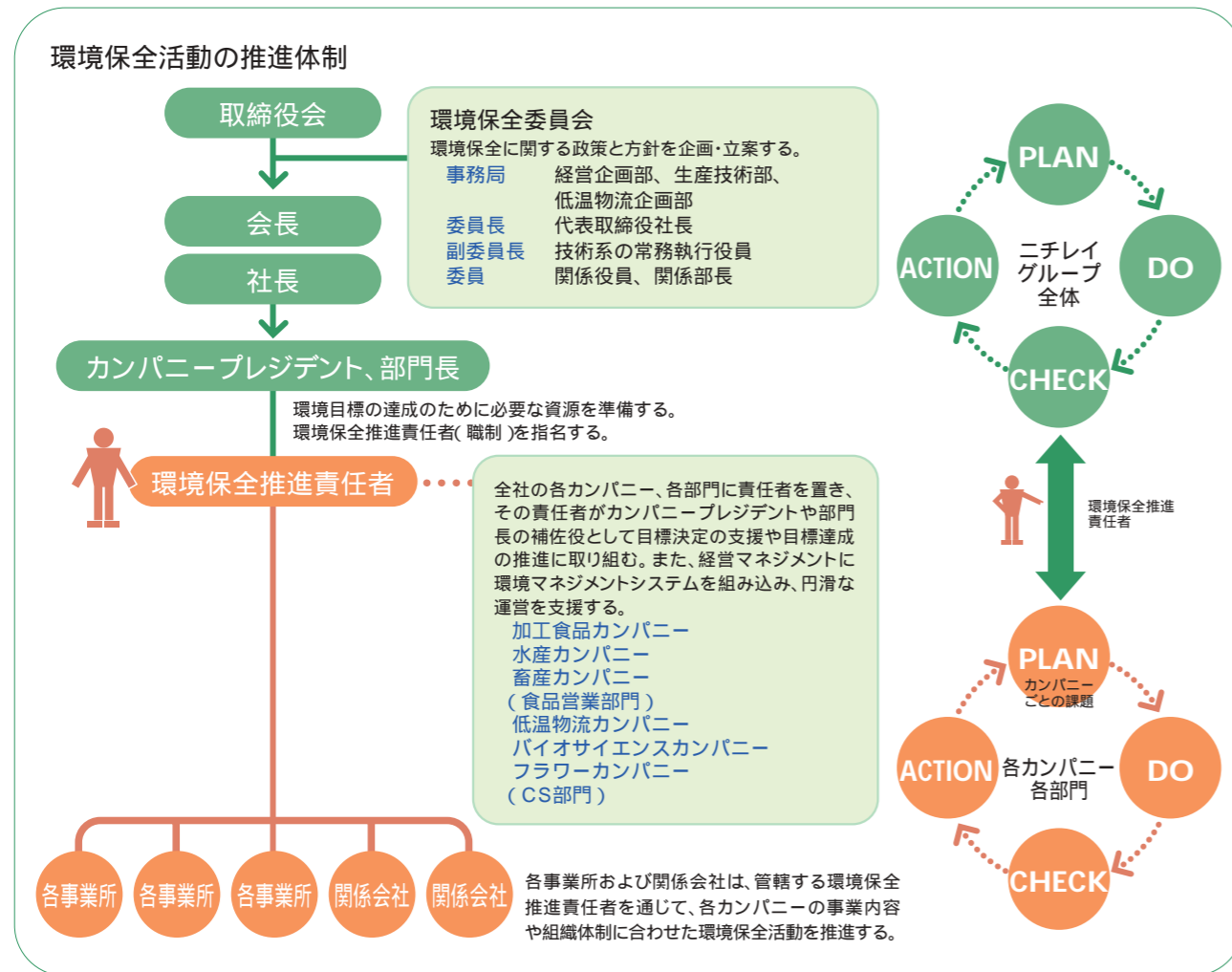


環境マネジメントシステム

ニチレイグループのあらゆる活動・製品・サービスから生まれる環境負荷を正しく把握・検証し、的確な対応を図っていくために、2003年4月のカンパニー制導入に合わせて環境保全活動の推進体制を再整備し、より事業に密着した活動を展開しています。



廃棄物の削減をはじめ、省エネルギー、省資源などの環境保全活動を推進していくためには、自社の活動・製品・サービスが生み出すあらゆる環境負荷を正しく把握・検証し、それぞれの課題に応じた的確な対策を講じることが不可欠です。ニチレイグループは加工食品をはじめ、水産品、畜産品、低温物流、バイオサイエンスやフラワー事業など、多岐にわたる分野で事業を展開しており、その環境負荷の特性も異なることから、各カンパニーに環境保全推進責任者を配置した独自の環境マネジメントシステムを導入しています。ニチレイグループの環境保全活動を総轄する環境保全委員会が企画・立案した政策や方針に基づき、環境保全推進責任者は、各カンパニー特有の環境課題に応じた目標の策定から、目標達成に向けた活動の推進に責任をもって取り組みます。

社内カンパニー制の導入について

2003年4月1日より、ニチレイは社内カンパニー制を導入しています。社内カンパニー制とは、それぞれの事業部門を独立した会社のように扱うことで自律的な経営がなされることを目的とした組織体制のことで、各カンパニーが責任と機動性を発揮できる経営体制を実現するものです。これに伴いグループ会社も含む各部門を「加工食品」、「水産」、「畜産」、「低温物流」、「バイオサイエンス」、「フラワー」の6カンパニーに括り直し、事業を支援する人事・総務、経理や経営企画などの組織も大きくコーポレートスタッフとコーポレートサービスに役割を明確化して再編しました。

社内カンパニー制の主な目的
業界の環境変化への柔軟な対応
成長基盤の確立
各カンパニーへの権限委譲と自立性の発揮
コーポレートガバナンスの強化

ISO14001 認証取得状況

ニチレイグループでは環境方針の実現と環境マネジメントシステムの充実化を図るために、国際規格であるISO14001を環境マネジメントの基本ツールとして導入し、主要食品工場（年間生産量3,000トン以上）における認証取得およびそれに準じた活動に取り組んでいます。

ISO14001 認証取得および取得予定の工場		
認証取得年月日	認証取得または取得予定工場	審査登録機関
2000年 3月31日	千葉畜産工業(株)	高圧ガス保安協会
2000年 12月22日	(株)ニチレイフーズ山形工場	高圧ガス保安協会
2001年 3月26日	(株)ニチレイフーズ船橋工場	高圧ガス保安協会
2001年 6月22日	(株)ニチレイフーズ高槻工場 関西日冷(株)高槻事業所 同一敷地内にある2社を一つの対象単位として取得	高圧ガス保安協会
2002年 4月26日	(株)ニチレイフーズ白石工場	高圧ガス保安協会
2003年 1月24日	(株)ニチレイフーズ博多工場	高圧ガス保安協会
2003年 4月25日	(株)ニチレイフーズ長崎工場	高圧ガス保安協会
2004年 3月取得予定	(株)ニチレイフーズ梅町工場	高圧ガス保安協会

(株)ニチレイフーズ長崎工場については、活動実施年度である2002年度の実績としてご報告しています。

その他の主要食品工場についても、認証取得を視野に入れ、ISO14001の要求事項に準じた環境保全活動を進めています。

ISO14001の要求事項に準じた環境保全活動を推進している主要食品工場		
(株)森ニチレイフーズ 小名浜マルイチ加工(株)	(株)マンヨー食品 (株)イナ・ベーカリー	(株)中冷

ニチレイグループは、グローバル化する環境問題への的確な対応を図っていくために、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証取得活動を推進しています。とくに環境負荷の高い食品工場を優先した取り組みを進めており、まずは2003年度末までに(株)ニチレイフーズの全7工場を含めた8工場での認証取得を目指しています。

また、その他の主要食品工場も、認証取得を視野に入れながらISO14001の要求事項に準じた環境保全活動および環境マネジメントを推進しています。2002年度は新たに博多工場、長崎工場が認証取得しました。また、(株)ニチレイフーズ梅町工場は2004年3月の認証取得を予定しています。

新たに認証を取得した食品工場からの報告



(株)ニチレイフーズ博多工場 環境管理責任者
中山 知也

「地球環境にやさしい工場」という意識を全従業員で分かち合えることを目標とし、「モノ」だけに頼らず、「心」で構築していくマネジメントシステムの実現に取り組んできました。今後改善していくべきテーマもありますが、今回構築した環境マネジメントシステムを有効に活用しながら、継続的な改善活動と環境に対する従業員の意識向上を図っていききたいと思います。



(株)ニチレイフーズ長崎工場 環境管理責任者
清水 明憲

2002年度は、長崎工場の全部門、全従業員が一丸となり、認証取得に取り組みました。2003年度は、その熱が冷めぬよう、また環境マネジメントシステムが特別なものではなく、仕事の一部として定着するように取り組んでいきたいと思っています。2003年度は、実質的な運用を行う最初の年となるため、PDCAサイクルを機能させながら、マネジメントシステムのレベルアップを図っていきます。